

広がる未来へ ②

菜の花エコプロジェクト

た はらエコ・ガーデンシティ構想の7つのプロジェクトのうち、最初にご紹介するのは『菜の花エコプロジェクト』です。

田原市は、全国1位の農業産出額（760億円「平成16年生産農業所得統計」）を誇る農業の盛んな地域ですが、その反面、市内遊休農地が年々増加の傾向にあります。（現在683ha・耕地面積の約9%）

この『菜の花エコプロジェクト』では、遊休農地を解消し、美しい農村景観の形成・地域の環境保全を実現する取り組みを行っています。



【たはらエコ・ガーデンシティ構想】

1 遊休農地の土壌改良

遊休農地に菜の花を栽培し、農地として維持するのに加え、観光目的としても菜の花を活用します。昨年度は「観賞用菜の花」を約12・5ha、「菜種用菜の花」を約4・6ha作付けしました。

2 菜種油を利用

菜種から油を搾り取り、学校給食利用による地産地消や、菜の花・菜種油を利用した特産品の開発を進めます。また、栽培・収穫などを通じた学習の場や、生きがい・健康づくりの場を提供します。

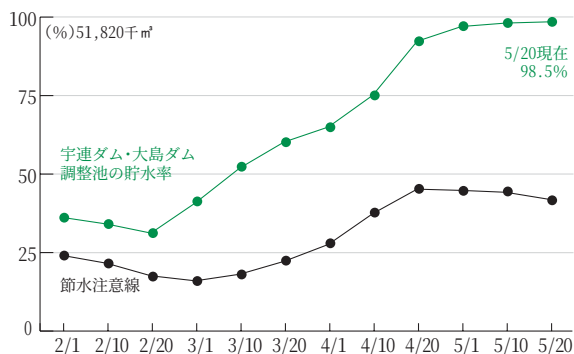
3 廃食油の燃料化

使用済みの油を回収し、燃料化したもの（BDFⅡバイオ・ディーゼル・フューエル）をディーゼル車やトラクターなどに利用します。現在、公用車2台とスクールバス1台でBDFを使用しています。

▼エコエネ推進室 ☎ 23局 7401
FAX 23局 0669

■宇連ダム・大島ダム・調整池の貯水率

水道料金のお支払いは、便利な口座振替で



■市内4河川の水質調査結果

BODは微生物が汚れをきれいにするのに必要な酸素量です
値が小さいほどきれいな川です



菜の花だより

▶エコエネ推進室 ☎ 23局 7401

「いちめんのなのはな

いちめんのなのはな

いちめんのなのはな

かすかなるむぎぶえ

いちめんのなのはな…」

菜の花畑を詠った山村暮鳥

この詩。目の前にどこまでも ● 5月中旬の「菜の花」

広がる菜の花畑の雰囲気がよくでています。

3月の終わりに咲き始めた「菜種用の菜の花」もあっという間に成長し、市内のあちこちで見る人の目を楽しませてくれました。菜の花は外側の花から咲き始め、上に伸びながら次から次へと開花していくので、1か月近くずっと花が咲き続けているように見えます。さて、いよいよ6月には、たくさんできたサヤから菜種を収穫します。1つのサヤにはだいたい20～30粒くらいの種が詰まっています。この種から採れる油は収穫量の約30%です。

※このコーナーでは、最新の菜の花情報を毎月お届けしています。